

Kirishima City Public Relations, Japan

9

September.2017
VOL.260

霧島

広報きりしま



特集 Special Feature

公共交通という選択



昨年度、中山間地域で実施した公共交通座談会

霧島市は全国で9番目の利用者数を誇る鹿児島空港やJR九州の2路線、九州自動車道の5つのインターチェンジがある交通の利便性が良いまちです。そのほか市が運行し、各地区内を巡るふれあいバスやデマンド交通（乗り合いタクシー）、民間事業者が運行する路線バス、タクシード、国分・隼人の市街地を巡る市街地循環バス、観光地間をつなぐ観光バス、朝夕のスクールバスが走っています。

現在の民間路線バスやふれあいバスなどは平成20年度に策定した「霧島市地域公共交通計画」を踏まえて運行され、通勤、通学、通院、買い物など市民の日常生活に欠かせない移動手段となっています。

難題山積み、公共交通の未来

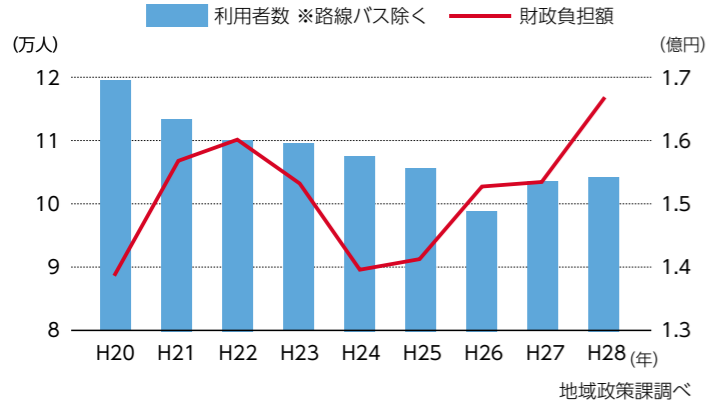
移動手段が豊富な霧島市ですが、マ

イカーの利用者の多さや交通ニーズの変化により、公共交通機関利用者の減少に歯止めが掛かりません。年間約757万人を超える観光客の移動手段の確保も大きな問題です。

特に利用者の減少が続くバス事業は他人事ではありません。市は民間バス事業者への運行経費の赤字補填や、ふれあいバスの運行委託料を負担。その金額は年間約1億7千万円に上り（グラフ1）、財源の一部には私たちの税金が充てられています。

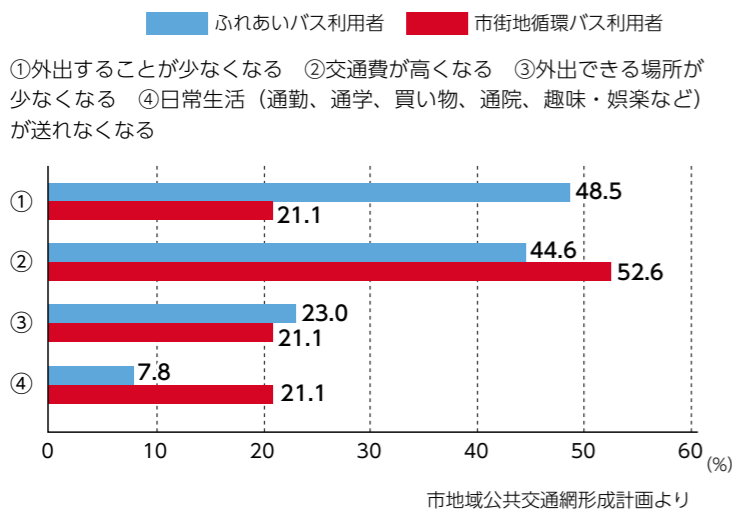
そのような状況に対し昨年3月、市

(グラフ1) バス利用者数、財政負担の推移



地域政策課調べ

(グラフ2) バス廃止の影響への主な意見 (複数回答)



市地域公共交通網形成計画より

は現状を踏まえた新たな「市公共交通網形成計画」を策定しました。さらに利用者の声を反映させ、ふれあいバスの運営を改善しようと昨年度、バスの利用率が低い市内の中山間地域で座談会を実施。その意見を取り入れて路線や時刻などを見直し、今年10月から新たな運行を始めます。

座談会では「乗客が少ないバスを走らせるのは無駄」「車が運転できるからバスはいらない」「バスがどこを走っているか知らない」などの意見も多数出ました。一方、計画策定のアンケート

ト調査では、ふれあいバス利用者の85%は65歳以上の高齢者で「バスが廃止されると外出する機会・場所が減る」「移動にかかる費用が増える」「日常生活が送れなくなる」という意見が多くを占めました（グラフ2）。

世代や生活環境などで需要や考え方が大きく異なる「公共交通」。財政負担や利便性の改善など多くの難題を抱えながらも、交通弱者の移動手段を確保するため絶やすことはできません。

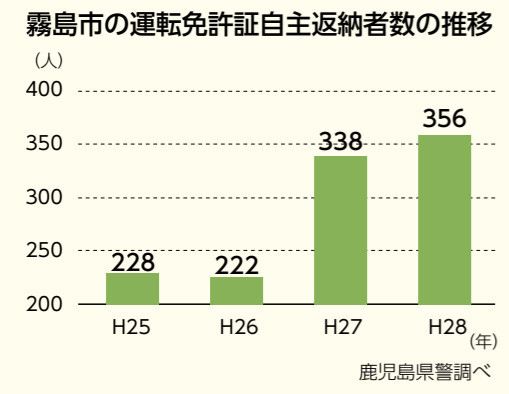
私たちは今後、この問題とどう向き合っていけばいいのでしょうか。

公共交通
という選択

10年後の交通難民問題を考える

皆さん、近頃バスや電車に乗りましたか。霧島市には身近な公共交通機関であるバスや電車などが走っていますが、十分に利用されていないのが実情です。公共交通機関は私たちが次の世代の市民にとって、どんな存在なのでしょう。あらためて、公共交通機関の必要性について考えてみましょう。





高齢者運転免許証 自主返納メリット制度

高齢者の交通事故防止と外出の促進を図るため、市内に住む65歳以上で運転免許証を自主返納した人を対象に自主返納メリット制度を実施しています。

お住まいの管轄の警察署(霧島警察署か横川警察署)で運転免許証を返納し、自主返納カードを作った人が協賛店でカードを示すと、下記や市ホームページで紹介する割引などの特典が受けられます。



↑市ホームページで運転免許証自主返納のメリットを詳しく紹介しています。

(協賛店にはステッカーが掲示されています) 自分の運転に自信がなくなった、車に乗らなくなったという人は、制度をご活用ください。

●**運転免許証自主返納カードでタクシー料金が1割引**
鹿児島空港タクシー事業協同組合(☎58-2399)に加盟する11社のタクシーを利用した際、利用料金が1割引されます。

●**共通乗車カードを交付**
循環バス、いわさき・南国交通などのバスを中心とした公共交通機関で利用できる「かごしま共通乗車カード(1万4,500円分)」1枚を、1回限り無償交付します。

●**身分証代わりに**
自主返納者が警察署に申請すると交付される「運転経歴証明書」は、公的な身分証明書として利用できます。

☎安心安全課 ☎(64)0997

その危機感を住民で共有すべきです。自分には無関係でも10年20年後、親が免許を返納するかも、子どもがバスで通学するかもと考えれば、「自分ごと」になります。私たちは移動の「選択肢」を次世代に残す責務があるのです」

さらに交通網の整備はまちの魅力づくりに欠かせないと続けます。

「市外からの来客は土地勘がありません。一番見せたい観光地をストレス無くつなぐことは、まちの印象を大きく左右します。悪ければ観光客を逃す可能性も十分あります」

移動に付き物のコスト面でも興味深い話をします。

「私は運転免許を持ちません。理由

は交通事故の加害者になったときの責任・金銭面のリスクが大きいこと。もう一つ、車の維持費が公共交通機関を使うより大きいと感じるからです。車を持たなければ、車が無くても生活できる環境や手段を自然と考えるので、大きな不自由は感じません」

乗って見える、利便性と問題点

公共交通機関を維持するために、私たち市民にできることはあるのでしょうか。内田さんは「とにかく一度でいいから使うこと」と力を込めます。

「市民アンケートによると市民のほとんどがまちの公共交通を使ったことがないようです。使わないと事業者の

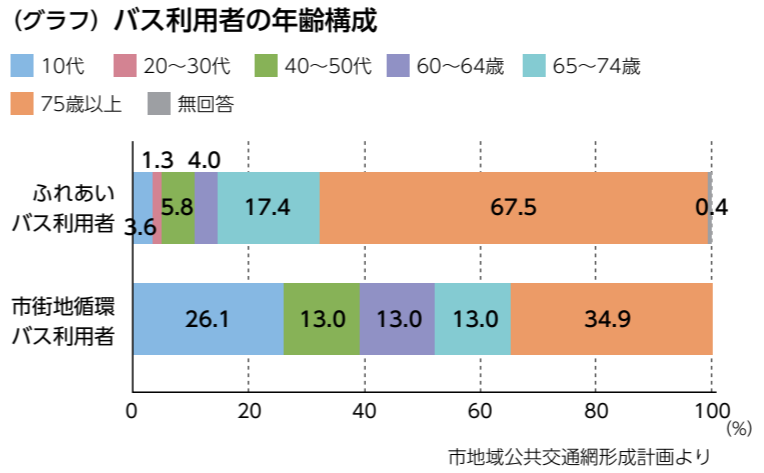
赤字は減りません。乗れば市民が当事者意識を持つきっかけになり、利便性以上に問題点が見えてきます。それを市の交通計画に反映すれば、改善の糸口が見えるはず」

利用促進のため、40年続いた赤字経営を黒字化させた北海道帯広市の十勝バス(株)の話を引用する内田さん。

「社員がバスの時刻表や路線図を各家庭に手配りするなど丁寧な説明を地道に続けた結果、次第に利用者が増えていきました。市ではバスの時刻や乗り場を相談する制度もあります。利用して一度は乗ってほしいです。さらに地域で乗り方やバス停などを教え合うことが大事です。交通の衰退は地域の



内田 一平さん(45)
秋田県出身。長岡技術科学大学卒業。平成12年から鹿児島工業高等専門学校に勤務。現在、都市環境デザイン工学科准教授。隼人町在住。



高齢化や事業の経営悪化で地域の交通手段が無くなるかもしれません。対策は「待ったなし」です。

10年後に移動手段を残せるか

柏木幸美さん(48)
たけひろ 壮裕君(11)
(福山町佳例川在住)



息子は小学1年から毎朝バスで3^{丁目}先の牧之原小学校へ通学しています。夫も私も朝から共働き。バスで通学できるため、私の地元・佳例川に家を建てようと思いましたが、帰りもバスだと不審者の心配もあります。運転手さんが親切で、毎日通学が楽しいと息子も喜んでます。

子の通学にバス利用。移住の選択肢の一つに

しょうとく よしかず
正徳 義一さん(74)
(国分上之段在住)



4年前に運転免許証を返納してから移動手段はバスだけです。買い物や病院、農協や市役所の用事で毎週2日、自宅と国分駅を往復します。自宅からバス停まで7分ありますが、ちょうどいい運動ですね。車を運転しないと事故を起こす心配が無いので、家族を安心させられてよかったです。

免許返納後もバスで、安心・満足な生活

目指す移動の姿とは

高齢化対策と事業者の経営改善。2つの難題に、内田さんは明確なビジョンをまわ全体で共有することが必要だと強調します。

「最大の目的は、マイカー無しでも最低限移動できる手段を将来にわたって確保することです。公共交通機関は一度廃止になると、復活はほぼ不可能。

「近年、高齢者が加害者になる交通事故が急増しています。今年1月の道路交通法改正で認知症検査が強化され、今後運転免許の取り消しや自主返納が増えることは確実。高齢者の移動を支える家族や親戚も、近年の核家族化で近くにいないため、交通難民の大量発生が懸念されます」

そんな状況の受け皿となるのが、従来の交通弱者の移動を支えてきた公共交通機関(グラフ)。しかし利用者が減り、国や自治体の支援なしには成り立たないというのが実情です。

「規制緩和による経営合理化で多くのバス事業者が路線の廃止・縮小を進め、それが利用者を減らす悪循環に陥りました。後継者不足で運転手の確保も難しく、将来バスや電車が無い時代が来ないと言い切れません」

気を強める内田さん。特に団塊世代の高齢化の影響が深刻だといいます。

「近年、高齢者が加害者になる交通事故が急増しています。今年1月の道路交通法改正で認知症検査が強化され、今後運転免許の取り消しや自主返納が増えることは確実。高齢者の移動を支える家族や親戚も、近年の核家族化で近くにいないため、交通難民の大量発生が懸念されます」

そんな状況の受け皿となるのが、従来の交通弱者の移動を支えてきた公共交通機関(グラフ)。しかし利用者が減り、国や自治体の支援なしには成り立たないというのが実情です。

公共交通出前講座

ふれあいバス・デマンド交通のルートや利用方法、運行に関する意見交換などができます。

- 日時=年末年始を除く午前9時～午後9時の2時間以内
- 場所=市内で希望する場所で、申込者が準備
- 対象=10人以上の市民・団体
- 申込期限=開催日の14日前

☎=地域政策課 ☎(64)0952

担当職員
甲斐平(40)



「私の時刻表」を作いませんか

「よく使う区間、時間帯が決まっているのでその路線の時刻表だけほしい」「買物や通院に行きたいが、何時にどこから乗ればいいのか分からない」。そんなとき、あなたの生活に合った「私の時刻表」を無料で作ります。

電話や窓口で話を聞き、職員と一緒に考えます。ぜひご利用ください。

●必要な物=お住まいの地区の新しい公共交通マップ
☎=地域政策課 ☎(64)0952、各総合支所地域振興課

■デマンド交通とは

予約型の乗り合いタクシーです。乗り合う人の自宅近くの停留所まで順番に迎えに行き、目的地の停留所まで送ります。現在溝辺地区と霧島地区の一部で運行し、10月から福山地区の一部が加わります。詳細は各地区の「おでかけマップ」に掲載しています。利用するには事前登録をし、前日の午後5時までに予約が必要です。

- 登録場所=溝辺、霧島、福山の各総合支所地域振興課

■ふれあいバス・デマンド交通運賃

区分	運賃額
中学生以上	150円/1乗車
小学生	80円/1乗車
第1種身体・知的障がい者 精神障がい者(1級)	80円/1乗車 (本人、介護者1人まで)
第2種身体・知的障がい者 精神障がい者(2級)	80円/1乗車 (本人のみ)
未就学児	無料

■フリー乗降区間とは

中山間地域の一部区間では、バス停留所以外でもバスに乗降できます。ただし乗降可能な場所はバス路線に限りません。

■便利なICカードをご利用ください

ICカードはバス内で購入・チャージできます。購入は3千円から。チャージは千円単位で上限1万円まで。



■新しくなった公共交通マップ

各地区のマップは地域政策課や各総合支所、市民サービスセンター、市ホームページで入手できます。



☎=地域政策課 ☎(64)0952 霧島市ふれあいバス 検索



乗車券は循環バス専用券でOK!



花が咲く季節は、お花見のついでにバスで移動してみよう!



市役所周辺を散策し、買物や食事を満喫!



国分駅で乗車券を購入し、乗車!



お出かけのついでに、ふれあいバスで移動!

自宅
(溝辺町)

GOAL



お出かけが楽しくなるように、市内のバスを上手に活用!

初めてふれあいバスを利用した日高さんたち。そこで出た話が「もし将来車に乗れなくなったら」という不安でした。
免許返納や病気などは思いがけずやってくる。そのとき、公共交通機関をすぐに利用できるでしょうか。健康な今のうちに、移動の選択肢を増やし、楽しむ方法を見つけておくことが大切です。
10月からふれあいバスの路線図や時刻表が変わります。昨年の座談会で出た意見を反映させ、できる限り中山間地域からも各公共交通機関を利用して、市街地の拠点施設まで移動できるようになります。詳細は本号と一緒に自治会を通じて配布される「公共交通おでかけマップ」をご覧ください。
皆さんも市が行う公共交通の出前講座や「私の時刻表」作成サービスを利用し、自分や家族、地域で利用してください。一人一人の利用が、次の世代へ「命」の移動手段を残すことにつながります。



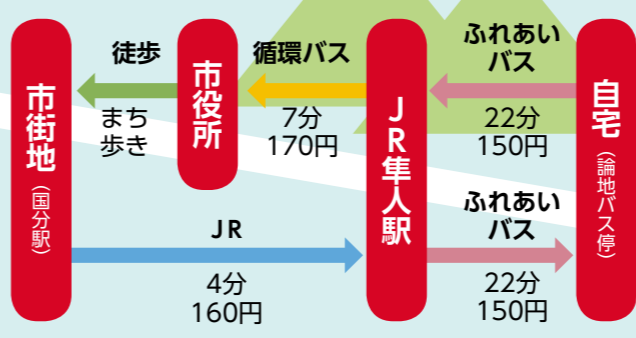
定刻におしふれあいバス到着!



「私の時刻表」を市の担当者に「総」で作成!

日ごろ車で移動する市民の皆さんに、公共交通機関を利用してもらいました。使い勝手はどうだったのでしょうか。

いざ、公共交通でのお出掛けに挑戦



移動時間…往復80分(待ち時間含む)
料金…往復630円
歩数…往復3,700歩

※厚生労働省による健康づくり計画「健康日本21(第2次)」で勧める65歳以上の1日の歩数
男性 7,000歩
女性 6,000歩



みんなも乗ってほしい!

日高やす子さん(68)
(溝辺町在住)

今回が初めてのふれあいバス。自宅から市役所周辺まで行こうと市へ相談すると「私の時刻表」を作ってくれました。それに従い出発。定刻おりに着いたバスは、入口が低く乗りやすいですね。運転手さんの笑顔で迎えられ、涼しい車内で同乗した友人と話が弾みました。バスからだ、日ごろの景色が違って見えます。おいしそうなお店を発見して友人と情報交換もできました。車だと日ごろ歩くことがない所を歩くことができ、新しい刺激になりますね。乗り方やバス停の場所などは、事前に市の

担当者に教わっていたので迷わずに済みました。10月からのダイヤ改正で移動できる範囲が広がるので、ほかの路線も試してみたいです。料金はタクシーを使うよりとても安く、移動時間も満足できる範囲。
近所では高齢者が増え、外出の機会が減ったとよく聞きます。自家用車を使うよりたくさん歩くと、身支度をしたり時間や用件を整理したりして、健康づくりや認知症予防に大きく期待できます。この経験を地域で話して、みんなでもっと利用したいですね。

第2回 霧島市青少年議会開催

若者の視点で 市政を問う 青少年議会

次代を担う青少年が政治に関心を寄せ、ふるさと発展のため課題やアイデアを提言する青少年議会が8月20日、霧島市議会議場でありました。

郷土愛を深め、政治や選挙に興味を持ってもらおうと、市と市議会は昨年からの青少年議会を始めました。

昨年11月3日に開かれた第1回青少年議会では、市内の中学から大学までの25校のうち、13校から24人を青少年議

員に選出。提言を受け早速、予算化などの検討を行いました。その結果、市の奨学金が返還免除となる「霧島ふるさと愛若者応援事業」や通学路の整備など、8つの提言を実現しました。

第2回となる今年も11校から22人の青少年議員が選出されました。選出方法は原則、各校の役員選挙と兼ね、市選挙管理委員会の投票箱を使うなど、実際の選挙や投票を意識しています。議長は交代制で3人置き、開会前に立候補・抽選により決定。議会の仕組みや議事進行の手順などを市議会の担当者から教わりまし

た。議長の開会宣言と共に開会した議会。冒頭の施政方針演



説で前田終止市長は「青少年議会は、未来の担い手である若者の声を真剣に聞き、市政に生かす機会。頂いた提言はきちんと検討し、市政に反映すべき事項は実現したい」と力強く話しました。

青少年議員たちは最初、緊張した面持ちでしたが、自分

の質疑の番になると堂々と壇に登壇。まちの魅力や知名度を上げる取り組み、霧島の和牛のブランド化、学校周辺の交通安全対策、就職支援など若者の視点から鋭い提言が続きました。中には実現までの具体的な期限の再質問もありました。

緊張の中、ふるさと発展への熱い思いを語った青少年議員たち。市は今回頂いた提言をしっかりと受け止め、今後の市政に生かしていきます。

※青少年議会の議事録は、9月末に教育総務課に設置、市ホームページに掲載します。

◎問教育総務課 ☎(64)0706



地域活性化、交通、ごみ問題など幅広い分野で提言、答弁が行われた青少年議会。緊張の中、堂々とした声で提言を終え、晴れやかな笑顔を見せる22人の議員たち

INTERVIEW



国分高校3年 大野 弘貴君 (17)



高田肥文教育長

もともと政治に興味があり、青少年議会議員に応募し議長に立候補しました。

ニュースで若者の政治離れをよく耳にします。その要因の一つに、政治の仕組みや用語が難しく、「若者には何をしているのか分からないのでは」と日ごろから感じていました。そこで学生にも理解できるように、行政や議会の情報をメディアなどで広く発信ができませんか提言しました。

昨年の青少年議会では、実現した提言もあり、私たちの声が反映されることを知りました。今年18歳になり、投票できる年齢になります。この経験を通して、周りの友達に政治は身近なもので、声を上げれば実現できると伝えていきたいです。

22人の若者が堂々と発表したり、議長に立候補したりする姿を見て、とても頼もしく感じました。

今回印象深かったのは、中学生向けに企業説明会を開催してほしいという提言。地元就職を増やし、将来の人口増につなげるため、中学生のうちに地元企業を知る機会を増やしていきたいですね。

平成28年度の内閣府の調査によると、政治に自分の意見が反映されていないと感じる人の割合は半数を超えています。霧島市青少年議会は、提案したものは全て検討し、必要なものは実現に努めます。

今後も青少年議会などを通して、政治・選挙に関心をもち、郷土を含めた社会の形成者としての力を育てていきたいと思ひます。



みんなが
褒め合うまちへ
今月の
★★★★★
キラシマイスター

褒めて伸ばすを合言葉に始まった「キラシマイスター」。霧島市を大好きな人たちが「キラシマイスター」が認定する、まちの魅力を紹介します。

私はPRデザイン霧島の関山さん夫婦を企画・デザインマイスターに認定します。



キラシマイスター
徳田浩一さん(筆)

★★★★★★★★
地域のイベントで企画やポスター作成をお願いします。すてきなデザインや驚きのアイデアのオンパレードです。



星7つの企画・デザイン
マイスター



◎PRデザイン霧島の関山さん夫婦
ポスター制作のほかホームページや動画、PTA新聞、竹灯籠も作成。思わず目を引くようなアイデアを提案します。

キラシマイスター <http://www.kirishimeister.com>

キラシマイスター 検索

キラシマイスター制度の問い合わせは、霧島PR課(☎64-0705)まで。

食育で農林水産大臣賞を受賞

NPO法人霧島食育研究会が第1回食育活動表彰で農林水産大臣賞(食育推進ボランティア部門)を受賞し7月18日、理事長の千葉しのぶさん(54)が報告のため市役所を訪れました。同会は食を大切にする文化を霧島でつくりと平成16年に設立。「霧島・食の文化祭」の開催やかごしま郷土料理マイスター講座など1,400回以上の活動・講演を実施。参加者は延べ11万人を超えます。



商工会議所創立20周年講演



塗布前の所見
眼鏡周囲、顎、頸に10cm程度と
小さい病巣が散見される。

霧島商工会議所創立20周年を記念し、平成27年にノーベル生理学・医学賞を受賞した北里大学特別栄誉教授、大村智さん(82)の講演会が7月28日、市民会館でありました。人材育成に努め「研究成果は社会に還元する」などの理念を話し、市内外から訪れた約千人は熱心に聞き入っていました。

霧島商工会議所創立20周年を記念し、平成27年にノーベル生理学・医学賞を受賞した北里大学特別栄誉教授、大村智さん(82)の講演会が7月28日、市民会館でありました。人材育成に努め「研究成果は社会に還元する」などの理念を話し、市内外から訪れた約千人は熱心に聞き入っていました。

復興への思い、届け東北へ

市商工会合併10周年記念事業の東日本大震災復興支援ライブが7月28日、国分シビックセンターであり、市内在住のシンガー・ソングライター・Yoshino & Masaeが震災や家族などをテーマにした自作曲を熱唱しました。会場は満員で、訪れた人たちは心に響く2人の歌声と歌詞に引き込まれ、涙を拭う姿も見られました。ライブの収益の一部は宮城県名取市へ寄付されました。



市内各地でにぎわう夏祭り



7月から8月にかけて市内各地では夏祭りや六月灯が開催されました。ステージショー、花火などの催し物や出店があり多くの人でにぎわいました。

7月15、16日の霧島国分夏まつりでは、約6,100人の踊り連による市民総おどりや国分寺御輿競走などが行われ、2日間で約13万人が来場。御輿競走を観覧

した隼人町の萬徳秋尚さん(31)さんは「威勢のいい掛け声と迫力ある走りにびっくり。来年も見に来たい」と楽しんでいました。日中は、市民総おどりのおはやしを担当する藤本秀旗社中が市内の福祉施設8か所を慰問。太鼓や三味線、かねなどのおはやしを披露し、祭りの雰囲気をお届けしました。



①熱気あふれる市民総おどり ②露店を楽しむ来場者 ③1.のみこしを担ぐ国分寺御輿競走(以上、霧島国分夏まつり) ④灯籠が並び厳かな雰囲気の中霧島神社宮内六月灯 ⑤みぞべ夏まつりでフラダンスを披露 ⑥福祉施設を慰問し、おはやしを披露する藤本秀旗社中

Taste of memories
なぜか元気になる

思い出の味



さば寿司

- 〈材料〉(約10人分)
サバ…3匹、米…5合、酢飯用の塩…21g、酢飯用の酢…100cc、砂糖…100g、みりん…9cc、昆布…サバの大きさ分
- 〈作り方〉
①3枚におろしたサバに満遍なく塩を振り2時間冷蔵庫に置く。
②①を水で洗い、キッチンペーパーで水気を取り、ひたひたになるぐらいの酢に漬ける。サバの身が白くなったら酢を拭き取り、冷蔵庫で1日寝かす。
③塩、酢、砂糖、みりんを合わせ、ご飯に混ぜ酢飯を作る。
④③が冷めたら空気を抜くように練り、高さ約5cm、幅をサバの大きさに整える。
⑤表面の薄皮を剥いだ②を下にして酢飯を乗せひっくり返す。
⑥⑤にキッチンペーパー、す巻きをかぶせ力を込めて絞り、煮た昆布を乗せ好みの幅に切る。

※調理上の注意点 ・傷みやすい魚なので、新鮮なものを選ぶ。・自分でさばく場合は、すぐに内臓を取る。

疲れを吹き飛ばす「さば寿司」

霧島田口 太崎 和美さん(61)



19年にキクエさんが亡くなった後も「家族に元気を運んでくれる」と作り続けています。

母を思う気持ちから作ったさば寿司。今も変わらず稲刈りの疲れを吹き飛ばしてくれます。

前に、空気を抜くように酢飯をぎゅっと固めること。空気を抜くことで長持ちします」と教えてくれます。

慰労会でさば寿司が出るようになったのは、平成9年頃。母・キクエさんがきっかけでした。田んぼの作付面積が広く、親戚など14、5人で稲刈りをするのが恒例。60代で精を出すキクエさんの疲れを癒やしたいと思ったからでした。

「普段は小食な母が慰労会ではたくさん食べてくれました。息子が作る料理が格別だったのか、母の『これのおかげで力が出る』の言葉がうれしかった」

以来、毎年作るようになり、平成

【箱】 刈りの後はさば寿司で慰労会をするのが毎年恒例。わが家の元気になる料理です。そう話すのは霧島田口の太崎和美さん(61)。

さば寿司は関西や岡山県などの郷土料理です。タンパク質やDHAなどが豊富なサバは、脂が乗る秋から冬が旬。疲れを取ったり、老化を防いだりします。鮮度が落ちるのが早く、冷蔵技術が無かった江戸時代頃から酢や塩で締めて運んだといわれています。

調理師の太崎さんが作るさば寿司は、妻・朋恵さん(40)の好みに合わせ酢飯が少し酸っぱめ。身が厚く塩気が利いたサバと、昆布の風味が口に広がります。「こつは締めさばを酢飯に乗せる

技を磨き

ハンディに勝つ



チームかごしま ジュニアアスリート (鹿児島国体代表候補選手)

強

烈なアタックをブロックするのは、国分南中学校2年の大宮路智夏さん。平成32年の鹿児島国体バレーボールのジュニアアスリートに市内の女子選手の中から唯一選ばれました。大宮路さんのポジションはミドルブロッカー。相手の攻撃をブロックしたり、速攻を仕掛けたりします。

小学4年のとき、友達の誘いでバレーボールスポーツ少年団に入った大宮路さん。毎日、アタックやレシーブなどの練習、足などを鍛えるトレーニングに励み、同年レギュラーになります。150センチの高身長を生かして九州大会など数々の試合に出場。6年になるとエースとしても

活躍します。

中学では女子バレーボール部に入部。運動神経の高さと少年団で培ったジャンプ力ですぐにレギュラーになりますが、一つの壁に直面します。「身長が伸び悩み、今の163センチは同年代の選手に比べると低いほう。試合の相手は2、3年生なので身長も高くブロックや攻撃が決まらなくなつた」と振り返ります。

身体面の不利は技術力でカバーしようと、努力家な性格で悔しさを晴らします。両親が録画した対戦相手の試合を見てボールを打つ高さや癖を研究。ブロックを跳ぶタイミングを考え、高身長からのアタックにはワンタッチして味方にボ

ルをつなぎ、攻撃では視野を広げ相手の動きを見ながら隙間を狙います。そして心強いのが「チームメイト」の存在。「いつも明るいメンバーのおかげで落ち込むことなく前へ進める」と信頼を寄せます。「夢は鹿児島国体で活躍すること」と力を込める大宮路さん。3年後の大舞台を夢見て練習に打ち込みます。



国分南中学校2年 女子バレーボール部 大宮路 智夏さん(14) 休休みは部員とバレーボールやサッカーを楽しむ。駅伝部でも助っ人として活躍。

YELL エール

顧問・山口真一さん(47)

抜群の身体能力を生かし、3月の九州中学選抜大会出場、県中学総体3位入賞の原動力になりました。これまで努力してきたことに自信を持って前に進み、鹿児島県を代表する選手として大きく飛躍していくことを楽しみにしています。

DREAM 夢のカタチ

未来の夢を追う子どもたちの今を描きます

このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介します。夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。

平原綾香と開くクラシックの扉



平原綾香 著

映画で使われた曲、小説や漫画で重要な役割を果たした曲、思い出の曲などを取り上げ、聴きどころや感じたことを優しくつづります。

マイ・ディア・ポリスマン



小路幸也 著

交番勤務の巡(めぐる)は、女子高生・あおいが去った後、財布を見つける。持ち主を捜し始めた巡は、意外な事実を知ることになる。

見上げた空は青かった



小手鞠るい 著

第二次世界大戦下、隠れ家に暮らすユダヤ人の少女・ノエミと、学童疎開中の少年・風太。2人の目から見た戦争を描きます。

クマノミのおさんぽ



広部俊明 写真

海の中には、私たちが知らない世界が広がっている。そんな海の中を、熱帯魚のクマノミと一緒に散歩できる写真絵本。

図書館へ行こう



<http://www.lib-kirishima.jp/>

移動図書館しるやま号



昭和45年から運行を開始。大型車に4千冊、小型車に1,300冊を乗せ、図書館から離れた地域、住宅・団地、小学校など58か所、配本18か所を巡回しています。

国分地区の一部の小学校では2か月に1回おはなし会を開催、緑陰読書や秋のおはなし会などの出張おはなし会のときに貸し出しも行っています。

- 貸出期間=次の巡回日まで(最長1か月ぐらい)
 - 貸出冊数=最高10冊(図書館で借りた冊数を合わせて)
- ※移動図書館巡回スケジュールは、市立図書館ホームページをご覧ください。

問=国分図書館 ☎(64)0918



遊びに来てね

単人図書館

臨時休館のお知らせ
蔵書点検のため次の期間休館します。

●期間=10月3日(火)~6日(金)
※休館中に図書の返却をする人は、図書館の入口に返却ポストを設けていますので、ご利用ください。

問=単人図書館 ☎(43)7574

郷土史への扉

今年是国内最後の内戦「西南の役」が終結し、西郷隆盛が没して一四〇年の節目の年です。
今回は、西南の役の経緯と霧島で起きた戦いなどについて紹介します。

西南の役の経緯

明治十年一月二十九日の私学校生による鹿児島市草牟田の官軍火薬庫襲撃が発端となって、薩摩軍は挙兵しました。戦いの主な経緯は次の通りです。

二月十七日 薩摩軍出陣。
二月二二日 熊本城攻防戦。官軍の籠城は五十二日間続き、陥落しなかった。

植木の戦い(熊本市)。薩摩軍が勝利し、官軍敗走。
二月二五日 高瀬の戦い(熊本県玉名市)。官軍が兵力の増加と豊富な重火器によって優位となり薩摩軍敗走。

三月 三日 田原坂の戦い(熊本市)。西南の役の天王山となった戦いで、両軍の死傷者は四千人を超えた。

五月 九日 人吉攻防戦。薩摩軍は陣容の立て直しを図ったが、官軍の多方面からの進撃によって小林方面に敗走。

六月十九日 都城攻防戦。七月二四日に都城陥落。
この間に市内各地で戦いが勃発し、八月十五日 和田越の戦い(延岡市)。

九月 二日 城山包圍戦(鹿児島市)。

西郷隆盛と霧島 その③

「西南の役」と霧島の戦役跡

ており、墓石には「明治十丁丑七月八日戦死」の文字と隊長の有屋俊成をはじめ十三人の名前が刻まれています。

市内の戦役跡②(福山佳例川)

熊本方面の攻防戦に敗れた薩摩軍は都城を基点に官軍を迎える陣を配置しました。福山地区においても薩摩軍は財部境(陣ヶ丘)に布陣した一方、官

軍は佳例川の立元集落の高台や二子塚に陣を築きました。戦いは七月十五日から始まり、都城が陥落した七月二四日以降も続きました。
二子塚には現在も官軍が築いた堡塁跡がわずかに残っており、地元住民の話では、畑の耕作時に鉄砲の弾がときどき見つかるそうです。また、近くにある井之口家旧住居には、薩摩軍が襲撃したときに付けられたとされる「刀傷」が残っています。
今回は牧園地区と横川地区での戦いについて紹介します。(文責 鈴)

※1 馬を逃がさないための深い堀。
※2 敵の攻撃を防ぐための土砂などで作った陣地。

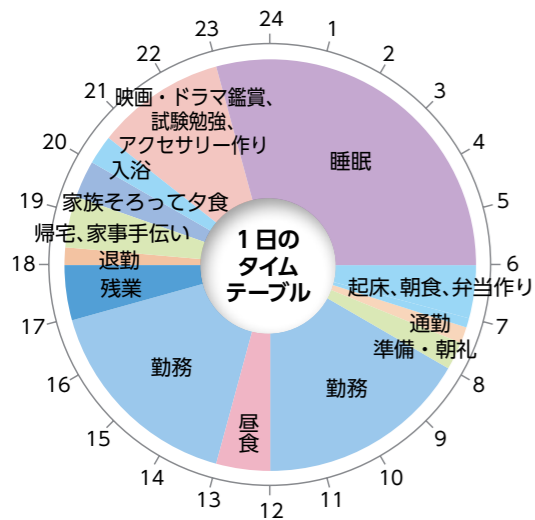
市内の戦役跡①(春山)

七月六日から十一日にかけて、大窪・春山で戦いがありました。重久方面から進軍してきた官軍に対して、薩摩軍は馬堀を即席の堡塁として利用して戦いましたが、圧倒的な兵力と火力の差で敗退しました。

春山には現在も薩摩軍の墓石が残っ



地元で世界のビジネスに貢献できる満足感。



国分生まれ育った私は、なじみの友達が多い地元で働こうと決めていました。ソフトバンクホークスの大ファンで、年に5回は福岡の球場に行きます。溝辺から高速バスで行けるので、安くて楽ちん。福岡や熊本が時間的に近いのが霧島市のいいところです。休日においしいお店を探すのも好きで、特にお気に入りなのが国分中央の和風カフェ「梅乃や」。店内は京都の茶屋を思わせる落ち着いた雰囲気、豊富な種類の定食と和洋の甘味がそろい、若い女性を中心に人気です。お勧めはとろとろの卵とコクのあるルーが絶妙にからむ「オムカレー」。わらび餅、シフォンケーキ、アイスクリームが入った豪華な「小町パフェ」も最高。個室や授乳室もあり、よく友人と行きます。ほかにも市内にはおしゃれでおいしいお店がたくさん。皆さんも探してみてください。



お茶とご飯と練り菓子屋 **梅乃や**
 ●場所=国分中央三丁目10-22 2階
 ●営業時間=午前11時～午後5時、午後6時～9時
 ●休日=日曜
 ●駐車場=無し(近くに民間の駐車場あり)
 ☎=梅乃や ☎(45) 8789



マイクロカット株式会社 品質管理部 **立石 のぞみさん (23)**
 国分出身。国分中央高校情報会計科(現在のビジネス情報科)卒業。平成24年入社。
 趣味は料理、プロ野球観戦、アクセサリー作り。国分在住。

精 密金具製造で世界最先端の技術を持つマイクロカット(株)。コンピュータ制御機器を駆使し、社名とおりマイクロメートル(千分の1ミリ)単位での複雑な形状や超小型部品の加工・製造を行います。高速インターネット通信に必要な光ファイバー用接合部品など約300種、部品によっては月40万個以上を生産。光通信用金属部品のシェアは世界の7割を占めます。平成20年には鹿児島商工会議所が地域振興に貢献した企業に贈る産業経済賞大賞を受賞。平成22年には「大手信用調査会社から世界シェア7割の「日本一」企業に認定されました。

人材育成に力を入れる同社は、社員の8割を地元から採用。世界に通用するものづくり集団を目指し、顧客の発展を最大の目的とする経営方針に「胸を打たれ入社を志した」と話すのは、勤続6年目の立石のぞみさん(23)。3次元測定器や顕微鏡などで1日に約60種の製品を測定し、数量確認、梱包など出荷の最終作業を主に行う品質管理部に勤務しています。「世界最高レベルで精密加工する機械でも、操るのは人間。ミスは付き物です。品質に少しでも疑問が湧けば、勇気を持ってNGを出します。会社の信用に関わる大事な仕事を任されて、誇らしい気持ちでいっぱいです」。同社は「大家族主義」を提唱。年齢・役職を問わず業務改善のための積極的な提案を促し、業務外はイベントなどで家族ぐるみの交流を行っています。専門技術や知識を向上させるため、大学などの協力を得て毎年1回行う独自のマイスター制度も導入。成果は定期昇給に上乗せされ、社員の意欲と能力の向上につながっています。同社が経営する家族湯が入り放題という温泉地・霧島ならではの福利厚生も。「地元にながら世界のビジネスに貢献できる満足感はこちらならでは。採用も多いので、向上心にあふれた後輩の入社が楽しみです」

※東京商工リサーチ福岡支社調べ



ミライ、ワク・ワーク vol.4

霧島市にはたくさんの企業があり、そこで多くの若者が生き生きと働いています。このコーナーでは、そんな企業や若者の暮らしを紹介します。第4回目はマイクロカット(株)社員の立石のぞみさん(23)です。就職を控える生徒や学生の皆さん、ぜひ霧島市で働き・暮らすという未来を描いてみませんか。



光通信用金属部品製造で世界シェア7割の日本一企業。

マイクロカット株式会社 取材協力企業
 国分上野原テクノパーク12-2 ☎(48)5611 <http://www.microcut.jp/>

代表者: 代表取締役社長 高木 治邦
 操業: 平成15年1月
 資本金: 7千万円
 売上高: 30億円(平成28年度12月期)
 従業員数(男/女): 207人(141人/66人)
 平均年齢: 34歳
 有給休暇の平均取得日数: 5.3日/年
 月平均残業時間: 40時間
 育児休業取得率(男/女): 100%/100%(H26~H28年度)
 平成29年採用実績(新卒/それ以外): 32人(4人/28人)
 初任給: 15万円~18万円
 勤務時間: 午前8時~午後5時(年間休日111日)



①砂を詰めたペットボトルをダンベル代わりに使った健康体操 ②ハンカチを使った健康体操 ③毎年10万人を超える人出でにぎわう鹿児島神宮の初午祭 ④馬踊りの練習が進むにつれて指導に熱が入る前さん ⑤8月にモンゴルで行われた公演で馬踊りを披露したさわやか会 ⑥鈴や花、錦などで華やかに飾られた鈴かけ馬

健康づくりのエンターテイナー



明るい表情があふれる鈴かけ馬踊りの練習風景

THE SCENE Vol.126 霧島に生きる

鹿

児島神宮の初午祭で奉納され、国の無形民俗文化財にも指定されている「鈴かけ馬踊り」。鈴が連なった胸飾りと花や錦で飾ったくらを付けた馬が、太鼓や三味線に合わせて足踏みし、馬の動きを表現した踊り連がその後ろを練り歩く、全国でも珍しい郷土民舞です。

「上体は伸ばしたまま。もっと足を上げて、馬の躍動感を表現しよう」。踊りの練習中に明るく元気な声を響かせるのは、郷土民舞研究会さわやか会(以下「さわやか会」)代表の前サチ子さん(82)。踊りの構成や指導を行っています。同会は昭和62年に発足し、今年で30年目を迎えました。10代から80代までの男女約80人が日本各地の郷土民舞の保存と普及に取り組んでいます。

「負けず嫌いで何事にも全力投球」と話す前さんはとにかくパワフル。高校時代は陸上部と演劇部に所属します。隼人町の実家から加治木町の高校まで走って通学し、高校2年生から4年連続で国体の1000走へ出場。演劇部で培った豊かな表情で熱のこもった指導を行う一方、軽快なトークで周囲に笑顔が絶えません。

さわやか会を立ち上げるきっかけは昭和61年、国体での活躍を買われ、隼人町教育委員会から地域の健康づくりを担う体育指導員に任命されたことでした。子どもから高齢者まで幅広い年代に合った健康づくりを考える中、目を付けたのが民舞でした。「民舞は高齢者になじみがあり参加しやすい。踊りに加え、おはやしで大声も出すので脳と体を活性化します。元気がなかったお年寄りの表情が生き生きと変わっていく姿に、私も元気をもらいました」と手応えを感じます。

全国各地の民舞研修会に参加するたび、健康づくりのほかに民舞の魅力にも引かれていきました。「例えば東北の民舞は雪に足を取られないように足を高く上げます。土地柄や歴史などが詰まっている民舞を踊ると、その土地の文化が肌で感じられとても感動的」と目を輝かせます。

これまでに国民文化祭のほかベトナム、モンゴルなどで公演し、鈴かけ馬踊りをはじめ日本の民舞の魅力の世界に向けて発信し続ける前さん。何事にも、みんなと視線を合わせて楽しむことが大切と話し、

「民舞も健康体操も、お互いに楽しめる構成や振り付けを常に考えています。悩んでも思いつかず、夜中に

布団の中でふと思いつくことも。すぐに起きて踊らないと気が済まないんですよ」と笑みがこぼれます。若い世代にも郷土民舞を楽しんでもらえるよう、鈴かけ馬踊りの曲を自らサンパ調に編曲するなど、ますます意気盛んな前さん。地域の健康づくりと郷土民舞の伝承を通して、「楽しむ」ことを追求する元気な声が今日も響き渡ります。



前 サチ子さん(82)
隼人町出身。元体育教師。教育委員や社会福祉施設の館長などを務め、地域の健康づくりに貢献。健康体操講座などで講師も務める。料理も上手で、テレビの料理番組に出演していたことも。元気の源は毎朝40分間のウォーキング。

※各地区で古くから伝えられてきた踊り。



※問=問い合わせ先 申=申し込み先

※健マ=「健康マイレージ」対象の事業(20歳以上が対象)

健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

お知らせ

福祉手当を支給します

重度心身障がい児、重度心身障がい者や災害遺児の福祉増進を目的に、霧島市福祉手当を支給します(施設入所者や特別障害者手当などの受給者は除く)。

受給資格のある人は申請してください。平成28年度に霧島市でこの手当を受給した人は、申請の必要はありません。

●受給資格 10月1日現在、霧島市に続けて1年以上住所があり、次のいずれかに該当する人

- 身体障害者手帳1級か2級を持っている人
●療育手帳A、A1、A2のいずれかを持っている人
●身体障害者手帳3級と療育手帳B1を持っている人
●精神保健福祉手帳1級を持っている人
●不慮の事故や災害で父母の両方もしくは一方が死亡した義務教育終了前の人。父または母が婚姻関係(事実上の婚姻を含む)に至った人は除く。

必要書類 申請する人の印鑑(認め印可)、身体障害者手帳、療育手帳か精神保健福祉手帳、本人名義の通帳

●手当の額 1年額1万円(10月1日現在で手帳の交付を受けてから6か月未満の人は5千円)
●受付期間 10月2日(月)~13日(金)

問 申 長寿・障害福祉課 ☎(64)0855

井戸水などの水質検査登録は9月29日まで

国では、水道法の規制対象とならない井戸などの施設は、水質検査を1年に1回行うよう勧められています。

市でも衛生確保のため、管理者に井戸水などの水質検査の積極的な実施をお願いしています。水質検査は事前登録制で、希望する人は9月29日(金)までに登録手続きをお願いします。

登録用紙配布場所 環境衛生課、隼人市民福祉課、各総合支所市民福祉課
※既に登録済みの人や送付先

9月下旬から 就業構造基本調査員が訪問します

就業構造基本調査は国民の就業状況を把握して、雇用などの各種政策の立案の資料となります。

9月10日は「下水道の日」

下水道は、生活環境の改善や河川、湖沼、海などの水質汚濁を防止する重要な役割を

霧島市花火大会 6,000発 9月30日(土) 午後8時~8時30分 会場:霧島市国分キャンプ海水浴場 問:霧島市花火大会実行委員会(霧島商工会議所内) ☎(45)0313

国分中央高校北通り線通行止めのお知らせ

Map showing road closure area from 第一工業大学 to 国分中央高校. Includes text: 空港方面へのアクセス道路整備に伴う橋梁工事のため、国分中央高校北通り線の通行止めを行います。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

変更が無い人は必要ありません。検査実施時期などは、登録済みの人へ後日通知します。検査費用は管理者の負担となります。

9月10日は「下水道の日」 下水道は、生活環境の改善や河川、湖沼、海などの水質汚濁を防止する重要な役割を

9月下旬から、調査員証を携帯した調査員が世帯を訪問して調査票を配布します。回収した調査票は厳重に管理し、統計の作成に関する目的以外に使用することはありません。調査へのご理解とご協力をお願いします。

認知症への理解を深めよう 認知症は、若い世代でも発症する可能性がある脳の病気で、早期発見・早期治療が重要です。物忘れ、判断・理解力が衰える、時間・場所が分からなくなるといった初期症状が疑われたら、かかりつけ医または市地域包括支援センターへご相談ください。

西郷隆盛と霧島 晩年、霧島に足しげく通った西郷隆盛は、逸話と共に多くの遺品を残しています。この展覧会は、西郷隆盛の晩年を振り返る貴重な機会です。

自宅で歯科診療が受けられます 始良地区歯科医師会では、介護高齢者などで歯科治療に通院できない人などを対象に、訪問歯科診療を行っています。まずは、かかりつけ歯科医師に、かかりつけ歯科医師がない場合は始良地区歯科医師会(火曜は休み)にお問い合わせください。

*環霧島会議と錦江湾奥会議を構成するまちのお祭りやイベントの最新情報をいち早くキャッチ。お好みのイベントを探して、出掛けてみませんか。

始良市 なぎさのハイカラビール祭 日時=9月16日(土)、17日(日)午後3時~9時 場所=なぎさ公園あいら(重富漁港横) 内容=さまざまな種類のビールを始良・北海道のグルメと共に楽しめます。

垂水市 第19回瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサート 日時=10月7日(土)午後5時~7時 場所=垂水市文化会館(田神2750-1) 内容=海上自衛隊佐世保音楽隊によるコンサート(入場無料)

鹿児島市 鹿児島マラソン2018 日時=3月4日(日)午前8時30分から 内容=①マラソン、②ファンラン(8.9km) 定員=①1万人、②2,500人(申し込み多数の場合は抽選)

都城市 2017都城焼肉カーニバル 期間=10月7日(土)午前11時~午後8時 場所=観音池公園(高城町石山4195) 料金=花火大会も同時開催。焼肉は前売り券(2千円)が必要。

※環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ります。



※問=問い合わせ先 申=申し込み先

※健マ=「健康マイレージ」対象の事業(20歳以上が対象)

健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

国際交流員と交流しよう 健マ

コース名	内 容	日 時	場 所	定員	受講料	申込期限
韓国語教室	道を探ねたり、案内したりするなどの表現を韓国語で学びます。※コップ持参。	10/ 5 (木) 18:30 ~ 19:30	国分公民館 調理講義室	先着15人	無料	10/ 4 (水)
中国語教室	中国旅行でホテルに宿泊する際に使える中国語を学びます。	10/12 (木) 14:00 ~ 15:00	国分公民館 調理講義室		無料	10/11 (水)
韓国カルチャー体験	うちわにハングルを書いて韓国文化を楽しみます。※ハングルが分からない人も参加可能です。筆ペン持参。	10/13 (金) 14:00 ~ 15:00	国分公民館 調理講義室		200円	10/12 (木)
English Hour	自分に合ったレベルで、楽しく英語で会話をします。 ※参加は1人1つのレベルに限ります。	初級:10/16 (月) 18:00 ~ 19:00 中級:10/16 (月) 19:10 ~ 20:10 上級:10/23 (月) 18:30 ~ 19:30	国分公民館 中研修室		無料	初・中級:10/13 (金) 上級:10/20 (金)
英語でティータイム	英語で話をしながらティータイムを過ごします。	10/18 (水) 18:30 ~ 19:30	国分公民館 調理講義室		無料	10/17 (火)

●対象=市民 ※キャンセルする場合は前日までに連絡してください。 ●申込方法=電話か市ホームページから
問・申=市民活動推進課 ☎(64)0924

集落ぐるみで鳥獣を寄せ付けない取り組みを

イノシシ・シカなどの鳥獣による被害を防止するために集落内の状況を把握し、集落ぐるみで農作物を守りましょう。

■対策のポイント

- 集落内の環境点検
誰も管理していない放任果樹や、放置された野菜くずが餌になることがあります。やぶやけもの道などの隠れ場所になりそうな所はありませんか。
侵入防止柵の設置場所と管理状況は適切で、柵の外側を人が通れるスペースがありますか。
- 無意識の餌付けをやめる
餌となる青草を出さないようにあぜやのり面では草刈りを9月ごろまでに終わらせて、冬場は枯草の状態にしましょう。田んぼでは、二番穂やレンゲを食べさせないように、電気柵がある田んぼでは収穫後も柵を適切に管理しましょう。
- 人に慣れさせない
日ごろから見回りや追い払い活動をし、鳥獣が集落に侵入しないようにしましょう。



- 農地に近づかせない。
鳥獣は明るく身を隠せない場所を嫌がります。森林と農地の間に見通しの良い空間(緩衝帯)をもうけ、集落内の見通しを良くしましょう。

問=農政畜産課 ☎(64)0910、各総合支所産業建設課

●日時 10月11日～3月14日
踊りませんか。
■フラダンス(初・中級者向け)
なじみの歌に乗って一緒に踊りませんか。

講座番号	講座名	日 時	受講料	申込期限(必着)
32	仕事に役立つワード(夜間)ステップアップ講座	10/11 (水)、12 (木) 18:30 ~ 20:30	500円	9/27 (水)
23	はじめてのデジカメ写真加工入門講座	10/17 (火)、18 (水) 9:30 ~ 15:30	1,000円	10/ 3 (火)

●申込方法=往復はがき(1講座1枚)に講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送
●受講決定=はがきで通知(申し込み多数の場合は抽選)
問・申=メディアセンター ☎(64)0919 ☎899-4394 国分中央三丁目45-1

メディアセンター 自主講座



- 日時 10月23日～12月18日(全て月曜・全8回) 午前9時50分～10時50分
●定員 2先着30人
●受講料 4千円
- 日時 10月23日～12月18日(全て月曜・全8回) 午前9時50分～10時50分
●定員 2先着30人
●受講料 4千円
- 日時 10月11日～12月20日(全て水曜・全10回) 午後7時～7時50分
●定員 2先着30人
●受講料 4千円
- 日時 10月6日～12月15日(全て金曜・全10回) 午後2時～3時30分
●対象 成人女性
●定員 2先着20人(13人以上で開講)
●受講料 5千円
●受付 9月12日(火)から
- 日時 10月11日～12月20日(全て水曜・全8回) 午後7時～7時50分
●定員 2先着30人
●受講料 4千円
- 日時 10月11日～12月20日(全て水曜・全8回) 午後7時～7時50分
●定員 2先着30人
●受講料 4千円

- 日時 10月24日～12月12日(全て火曜・全8回) 午前10時～正午
●対象 成人男女
●定員 2先着10人
●受講料 4千円
- 日時 10月24日～12月12日(全て火曜・全8回) 午前10時～正午
●対象 成人男女
●定員 2先着10人
●受講料 4千円
- 日時 10月24日～12月12日(全て火曜・全8回) 午前10時～正午
●対象 成人男女
●定員 2先着10人
●受講料 4千円

相談

- 日時 9月24日(日) 午前11時～午後4時
●場所 西郷公園(溝辺町麓856-1)
●内容 和太鼓演奏、自顕流演舞・体験、出店など
- 日時 9月24日(日) 午前11時～午後4時
●場所 西郷公園(溝辺町麓856-1)
●内容 和太鼓演奏、自顕流演舞・体験、出店など
- 日時 9月24日(日) 午前11時～午後4時
●場所 西郷公園(溝辺町麓856-1)
●内容 和太鼓演奏、自顕流演舞・体験、出店など

- 日時 9月28日(木) 午後6時～7時30分
●場所 国分シビックセンター多目的ホール
●定員 300人(申し込み多数の場合は抽選)
●参加料 無料
- 日時 9月28日(木) 午後6時～7時30分
●場所 国分シビックセンター多目的ホール
●定員 300人(申し込み多数の場合は抽選)
●参加料 無料

- 日時 10月7日(土) 午後3時50分～8時50分
●集合場所 高千穂河原ビジターセンター前
●対象 中学生以上で高千穂峰登山経験者
●定員 2先着50人
●必要な物 ヘッドライト、防寒着、弁当、飲み物など
●参加料 2千円
- 日時 10月7日(土) 午後3時50分～8時50分
●集合場所 高千穂河原ビジターセンター前
●対象 中学生以上で高千穂峰登山経験者
●定員 2先着50人
●必要な物 ヘッドライト、防寒着、弁当、飲み物など
●参加料 2千円



「産前産後乗り切り講座」 参加者募集

妊婦さんや産後の人、その家族、産前産後のサポートに興味がある人を対象にした講座です。

出産後、スムーズに育児をスタートするためには、妊娠中から赤ちゃんのいる生活をイメージしておくことが大切です。育児が始まっている人も、先の見通しを立てられるように、実際に困っていることへの解決方法やサポート情報などを提供します。



出産・子育てが待ち遠しい 楽しみながら学べる2日間

1日目(午前9時～午後1時)

- 家族の安心が見える、産後乗り越えチャートの作成
- ステップが見える産後養生の話
- 産前産後の心と体との付き合い方
- 栄養士の話
- ランチ交流会

2日目(午前9時～正午)

- 退院後も迷わないための母乳育児の話
- 赤ちゃんの抱っここのつ
- 子育ての今と昔の話
- 保育士による成長に合わせた遊びの工夫や、上の子の赤ちゃん返りへの対応

● 受講料

2,500円(資料代、交流会ランチ代込み、初日に受け付けで支払う)

● 必要な物

母子手帳、動きやすい服装、筆記用具、飲み物

● 会場

Hugoo hag ～はぐはぐ～ 隼人町姫城663

● 日程

	10月	11月	12月	1月
1日目	6日(金)	9日(木)	1日(金)	18日(木)
2日目	25日(水)	29日(水)	20日(水)	24日(水)

● 申し込み方法

開催日の3日前までに「申し込みフォーム」(右の二次元コード)から、またはメールで申し込みください。



申し込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/s60824309/>

メール

msc.kagoshima@gmail.com

問 = マタニティサポートカフェ鹿児島

☎090(9791)8051

特集 「睡眠事情、異常あり」は、睡眠に対する認識や睡眠改善への情報など、とても参考になりました。

「郷土史の扉」では、日本の近代史に大きな足跡を残した火薬製造所が実家近くの敷根にあったことを知り驚きました。これからは福山に帰省したときに拝読させていただきます。(よかとこ「霧島市49歳男性」)

睡眠

眠の特集を読んで、あらためて睡眠と向き合ってみようと思いました。子どもたちが育ち盛りのころは子育てが忙しく、十分に睡眠を取れていなかったと思います。今は自分のことが中心で、生活のリズムもできています。朝の目覚めも良く、毎日7、8時間の睡眠をしっかりと取れています。隠れ不眠チェックは当てはまる項目もなく、しっかりと眠れていると思うことでした。快眠の心得12か条を守って、睡眠の質が高まるように心がけたいと思います。(Y・M 56歳女性)

睡眠特集にはたくさんのお

便りをいただきました。暑さも彼岸まで。季節の変わり目の寝冷えにも注意しましょうね。

実

家に愛犬と帰省していた早朝5時。不注意か霧島警察署にも連絡し、必死で探しました。探している間に涙が止まらず、「もう会えないかも」と悪いことばかり考

えてしまいました。5時間半後、保健所から「警察署で犬が保護されています」との連絡があり、急いで向かいました。女性が保護してくださったので、お礼の気持ちで伝えたいと申し出ましたが、「私も犬が好きなので」と名乗られなかったそうです。雨の中、保護してくださり本当にありがとうございました。

人の優しさや地域の皆さまのご協力に感動しました。(K

H 52歳女性

脱走したものの、慣れない土地で愛犬も心細かったことでしょう。見つかった良かったですね。

こ

の春から長女が国分南中学校の特別支援学級に通い始めました。いろいろとうまくいかないことも多いですが、心配していた片道5

の根性で頑張っています。必死に自転車をご姿を見守りながら、たくましくなったと成長を感じる日々です。でも靴ひもが自転車に絡まって動けなくなったり、自転車の荷台から通学かばんが落ちてしまったりしたこともあり、そんな場面でも通りかかった地域や自衛隊の方々が、長女に優しく声を掛けて助けてくださいます。こうやって、皆さんの皆さんに支えられながら生活できていることに心から感謝しています。いつも温かく見守ってくださいありがとうございます。(こゆき母 47歳女性)

娘さん頑張ってますね。安心して暮らしていくためには地域の絆が欠かせませんね。

立

秋とはいえ、今年は大変な暑さが続いています。私は先月、夏の特別な寒さと感動を味わいました。7月10日午前4時40分、気温3℃。富士山の山頂で朝を迎えました。かじかむ手で膝を抱えながら日の出を待ちまし



初秋の彩り

曾山 泰秀さん(国分)

【撮影データ】絞リ13、シャッター1/24、ISO200



本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお声をお寄せください。お便りは綴じ込みのがき、ファクス(0995-64-0934)、携帯電話やスマートフォンは左の2次元コード、パソコンは市ホームページからお送りください。

問い合わせください。

私

の日常生活には杖が欠かせません。杖の色は白ではなく黒。運転手には分かりづらいこともあり、横断歩道ではなかなか停車してもらえません。先日の夕方、信号機のない横断歩道を渡ろうと車の通過を待っていました。でも、ラッシュ時で車が途切れません。すると、20歳前後の青年が横断歩道に出て、左右から来る車を止めて私が渡れるようにしてくれました。渡り終えてお礼を言おうとしたら、すでに立ち去っていました。

た。私の心は感謝の気持ちであふれんばかりで、この世も捨てたものじゃないと思いました。(くまりん「66歳男性」)

青年の優しさが身に染みますね。車を運転される皆さんにも、この優しさが広がって欲しいですね。

1

05歳の医師、日野原重明さんが亡くなられました。先生の講演会に行ったことがあります。これまでの幾多の苦難を感じさせず、先生の人生そのものを象徴しているかのような穏やかな表情でお話をされました。先生

の著書をもう一度読んで、自身の人生の教訓にしたいと思えます。(ひまわり娘 54歳女性)

最後まで現役で活躍された日野原さんの著書は図書館にもたくさんあります。市立図書館のホームページで検索できますのでご覧ください。

鹿

児島空港で広報きりしにまに目が留まり、その質の高さに驚きました。市役所からのお知らせだけではなく、特集記事やドリームなどの各コーナーをはじめ、絵はがきやクーポン券も付いてい

て、どのページも読みたくなくなる本当に内容の濃い広報誌ですね。市外に住んでいる私ですが、広報きりしまを毎月読みたいと思いました。これからも頑張ってください。(みいちゃん 55歳女性)

褒めてくださりありがとうございます。広報きりしまは市ホームページからもご覧いただけます。

褒め合うまち・霧島市



一番印象深かった、鹿児島空港から眺める高千穂峰

平成26年2月に霧島市民会館で開催された「第7回霧島市健康福祉まつり」に介護予防講演会の講師としてお招きいただいたのが霧島市とご縁の始まりでした。私の講演の前に「たけちゃん一座」という地元福祉関係者による認知症をテーマにした才劇がありました。素人とは思えない熱演ぶりに会場が笑いと涙に包まれ、とてもいい雰囲気の中で講演ができたことを昨日のことに思い出します。

講演では、放送開始から約20年となる、私のラジオ番組「生島ヒロシのおはよう一直線」の中で出演していただいた医療・介護・福祉に関わる権威ある先生方や専門家の皆さまからお聴きしたこと、さらには、番組に寄せられるリスナーの皆さまの声を織り交ぜながら、市民の皆さまの暮らしや悩みに寄り添うお話をさせていただきました。

講演が終わり、楽屋に帰ると、前田市長が満面の笑顔であいさつに來られ、「素晴らしいかったです。良かったです。褒めた上で「お願いがある。あなたの情報発信力で霧島市を国内外にPRしていただきたい。ぜひとも霧島市の大使になっていただきたい」と切り出された。勢いで「はい。頑張ります」と言っただけでした。仕事柄、多くの政治家にお会いしますが、温かみとすごみを持ち合わせている、いわゆる「昭和のコテコテ政治家」に久しぶりにお会いしました。

東京に帰り、霧島市を忘れる頃になると、この「広報きりしま」が届きます。行政が発行する広報誌とは思えない洗練されたデザインと読み応えのある内容にいつも感心させられます。霧島市のPR動画、褒め合うまち「キリシマイスター」も優れたものです。褒め合うと笑顔になれます。気が付くと大使まで引き受けてしまいます。これからも可能性あふれる霧島市を応援していきます。

おじゃんせ霧島大使



生島 ヒロシさん (66)

宮城県気仙沼市出身。フリーアナウンサー、ラジオパーソナリティ、タレント。東北福祉大学客員教授、高齢者交通事故防止アドバイザー（警視庁）、ファイナンシャルプランナーや福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、健康や福祉、金融や人生をテーマにした講演を精力的に行っている。株式会社生島企画室所属。

◎お便りをくださった方の中から、霧島ホテルより「黒豚しゃぶ鍋付硫黄谷会席と温泉日帰り券」のペアチケットを2人の方にプレゼント。応募締め切りは9月22日(金)。当日消印有効です。
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。



◀市ホームページからもプレゼントの申し込みができます。

PRESENTS 「黒豚しゃぶ鍋付硫黄谷会席と温泉日帰り券」(料理+入浴+休憩) ペアチケットをプレゼント

九州でも珍しいほどの規模を誇る掛け流し天然温泉「硫黄谷庭園大浴場」や樹齢100年以上の杉が群生する「百年杉庭園」の散策、ホテルオリジナル会席料理など、大自然に囲まれた至福のひとときをお過ごしください。今年7月には新部屋タイプ「和風ツイン」が新登場。ますます元気な霧島ホテルへぜひお越しくださいませ。

霧島ホテル 牧園町高千穂3948 ☎(78)2121
硫黄谷温泉



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

いつでも、どこでも、霧島市の情報を。

より多くの皆さんに市の情報を知ってもらうため、さまざまなツールで情報を発信しています。



霧島市公式ホームページ <http://www.city-kirishima.jp>

霧島市ホームページ 観光や子育て、移住定住情報、イベントカレンダー、行政情報など情報満載。	霧島市Facebook 市の公式フェイスブック。「いいね」をして市からの最新情報をキャッチしてください。
YouTube動画配信 動画共有サイトYouTubeで霧島市が公開している動画を見られます。	きりしまWAGON (Facebook) 霧島市を好きになってもらうために霧島市の魅力を発信しています。
マチイロ (広報誌電子版) 発行日に広報きりしまがスマートフォンやタブレットへ自動配信されます。	霧島市Twitter 霧島市をフォローすると、市ホームページが更新されるたびに情報が届きます。

◎人口 / 126,423人 (-284) ◎世帯数 / 60,379世帯 (-308)
 ・男性60,774人 (-275) ・65,649人 (-9) ・出生96人 ・死亡90人 ・転入347人 ・転出632人 (平成29年8月1日現在)



真っ赤に染まる (国分上小川) 8月20日 午後6時44分

今月の表紙

城山公園の屋外ステージの先にある展望所から見た夕日です。日没に間に合うか微妙な時間でしたがぎりぎりセーフ。「秋の日はつるべ落とし」と言いますが、見る見るうちに沈んでいき、西の空が真っ赤に染まるとオレンジ色の太陽がくっきりと浮かび上がりました。展望所からは国分平野や霧島の山々が一望できます。白い塔にある展望台からの眺めも良いですが、隠れた展望スポットにもお出掛けください(上小園)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ70~200mm F2.8 1/800s F5.6 ISO200

重 久への取材で車を確保できず、初めてふれあいバスで取材へ。路線図と時刻表で間に合うか確認。2時間半で無事帰庁できました。時間の制約を逆手に取って、普段より段取りが良かった気が、「ラーメン屋に寄り道しなかったね」と上司に褒め言葉までいただきました(川床)

は だしのナイター運動会」の取材でのこと。文字通り夜にはだしで行われる運動会で、単人地区などの女性団体が参加し今年で37回目です。風船をお尻で割るゲームなど楽しむ姿や、歓声を上げる観客に私も笑顔。運動は苦手ですが、こんな運動会なら参加してみたい(土井)

中 学、高校と約6kmの自転車通学。秋になると日暮れが早く、部活動を終えて帰る山道は真っ暗。昔のライトはタイヤの回転で点灯する。坂道になるとペダルが重く、ライトも薄暗い。暗いと怖い。怖いので大声で歌う。必死にペダルをこいだ30数年前を思い出します(上小園)

先 日、よわい32にして生まれて初めて東京へ1人で行くことに…東京なる所、天にも届くかのごとき屋敷、多々在りて、人の多きこと鹿児島神宮初午祭のごとし。特に渋谷のスクランブル交差点なる所、直進すること至難の業なり…無事に帰り着いてほっとしました(森本)

市長コラム 前田終止 人が住む必要条件

国勢調査の結果を基に、本市が独自に調査した20歳以下の市民の割合は、県内で最も高い21%という数値を示しました。本市では、霧島市ふるさと創生総合戦略に掲げました2060年の人口目標13万人の達成に向けてさまざまな政策を進めており、企業誘致もその一つです。

職員と一丸となり、トップセールスを繰り返して誘致が実現した日本郵便の「鹿児島郵便局」が、ゆうパックや郵便物を取り扱う南九州最大の郵便・物流拠点として8月14日、隼人地区の小田工業団地に開局いたしました。鹿児島中央駅の隣にある鹿児島中央郵便局の集約や配送の機能が全面移転したことで、従業員数は約350人。うち新規雇用者は約180人にも上り、合併後最大規模の雇用創出となったことから、本市の発展にさらなる弾みがつくものと期待しているところです。雇用があるということは人が住み続けるために必要な条件です。「働けるまち霧島市」のため、エンジン全開でさらに努力していきます。



安心と信頼のできる葬儀社を選ぶなら、ガイドラインマークのある経済産業大臣認可 全葬連加盟店 天国葬祭へ

弁護士が提案する

終活

してみませんか!?

参加無料
～ 笑顔の終活 ～


9月16日土 10:00～12:00

《会場》セレモニー国分 天国会館

イベント **大好評!**

とっておきの一枚を写真に残しませんか? プロのカメラマンが無料で撮影します!

ポートレート撮影会
(肖像写真) ※人数制限はありません。



学ぶ 元気な今のうちに知っておきたい! 相続でもめないポイント!

テーマ 10:00～11:00

1. あなたの相続、もめる危険度を診断
2. 相続でもめないための対策を教えます



野間法律事務所
弁護士 雨宮 敬之 氏
15年の社会人生活後、
弁護士に転身。始良市出身

間く いざという時、あわてないために お葬式のことを学んでみませんか

テーマ 11:00～12:00

数多くのセミナーで講師を務める一級葬祭ディレクターによる **家族葬・葬儀費用・お墓について**

! 互助会(他社)の積立金は、いつでも解約できます! ご相談ください

天国葬祭は4つの会館で対応いたします

全日本葬祭業協同組合連合会加盟店
厚生労働大臣認定 葬祭ディレクター/一級:13名、二級:5名在籍



駐車場 150台

セレモニー国分 天国会館

霧島市国分福島3-1-20
TEL.0995-46-0444
FAX.0995-46-4444



駐車場 150台

加治木 天国会館

始良市加治木町木田2342
TEL.0995-62-0444
FAX.0995-62-0042



駐車場 150台

始良みそらホール

始良市西餅田3288
TEL.0995-65-0444
FAX.0995-65-4429



駐車場 150台

蒲生みそらホール

始良市蒲生町久末205-1
TEL.0995-55-0444
FAX.0995-55-0445

天国葬祭の特約店
《割引特典あり》

- 京セラ ●ソニーセミコンダクタ ●イオン ●自衛隊隊友会 ●鹿児島県年金受給者協会
- 鹿児島県職員生活協同組合 ●九電九友会鹿児島県支部 ●鹿児島県警友会 他企業団体300社以上



天国葬祭

資料請求は、今すぐお電話で!

わかりやすい家族葬パンフレットをご用意しております。

年中無休
24時間 対応



フリーダイヤル

0120-1059-32

テン ゴク サン ニ

MisolaLink

バス運行において
安全性評価認定を
取得しました



学校関係で
修学旅行・部活動の遠征

地域やグループで
バスツアー・団体旅行

貸切りの
ご利用が出来ます。

旅行業(株)ミソラリンク 鹿児島県知事登録旅行業 第2-233号

〒899-5411 鹿児島県始良市鍋倉124-7

TEL 0995-73-6666 FAX 0995-73-3443